

平成22年度

福島県の一般廃棄物処理の状況

(平成23年3月末現在)



リーフィングル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

福島県生活環境部
一般廃棄物課

目 次

第1編 本編	1
1 福島県の一般廃棄物処理について	2
(1) 平成22年度一般廃棄物処理事業の概要	2
(2) 福島県廃棄物処理計画	4
2 福島県のごみ処理の状況	6
(1) ごみの排出量について	6
(2) ごみの分別収集状況について	11
(3) ごみの処理状況について	11
(4) リサイクル率について	13
(5) 最終処分場埋立量について	15
3 福島県のし尿処理の状況	17
(1) 水洗化の状況について	17
(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について	17
(3) 浄化槽の設置状況について	20
第2編 統計データ編	23
1 平成22年度廃棄物処理事業経費	24
2 平成22年度廃棄物処理事業委託・許可件数	30
3 平成22年度廃棄物処理業者及び従業員の状況	31
4 平成22年度ごみ処理の概要	32
5 平成22年度ごみ搬入量の内訳	36
6 平成22年度ごみ処理量の内訳	42
7 平成22年度資源化量の内訳	44
8 平成22年度ごみ処理手数料の状況(生活系)	49
9 平成22年度ごみ処理手数料の状況(事業系)	57
10 平成22年度ごみの収集運搬体制の状況(生活系)	65
11 平成22年度ごみの収集運搬体制の状況(事業系)	74
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況	83
13 市町村における生ごみ処理機(コンポスト容器も含む)普及促進策	84
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況	87
15 平成22年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧(国費による助成事業)	88
16 平成22年度水洗化人口等の状況	89
17 平成22年度し尿処理の状況	91
第3編 資料編	95
1 一般廃棄物処理施設の状況	96
2 環境美化条例等制定状況	112
3 市町村廃棄物関係担当課一覧	114
4 一部事務組合一覧	116

第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 平成22年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

平成22年10月1日現在の福島県の人口は2,039,345人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,782.75km²)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、平成23年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、14組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

平成22年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約228億円で、前年度(約233億円)と比較すると約2%減少しています。

表-1 平成22年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 18,581,156			し尿処理経費 4,234,681		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
22,815,837 (23,316,353)	997,256 (577,081)	17,154,952 (17,861,949)	428,948 (704,505)	58,360 (148,545)	3,593,774 (3,612,751)	582,547 (411,522)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

()の数値は平成21年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

平成22年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は672、その従業員数は5,051人となっており、前年度と比較すると、いずれも減少しています。

表-2 平成22年度一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
672 (697)	551 (577)	96 (93)	25 (27)	5,051 (5,218)	4,420 (4,628)	646 (610)	12 (12)

(注1)()内は平成21年度実績

(注2)従業員数は、業務の兼務により内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

平成22年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は113施設で、ごみ処理施設が65施設、し尿処理施設が26施設、一般廃棄物最終処分場が22施設

となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金（平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金）が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況 (平成22年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	23	3,003 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	476 (t/日)
	資源化施設	27	333.4 (t/日)
	その他の施設	1	5 (t/日)
	小計	65	
し尿処理施設	し尿処理施設	23	2,106 (kl/日)
	コミュニティプラント	3	計画処理人口7,540人
	小計	26	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 1,409千㎡ 残余年数 15.0年
合計		113	

(注)残余年数は、残余容量を平成22年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものの。

オ 一般廃棄物処理手数料の徴収状況

生活系ごみの処理については、資源ごみを除き4割以上の市町村において、また、事業系ごみは9割近くの市町村で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、収集を行っているすべての市町村(委託を含む)で有料化されています。

表-4 平成22年度ごみ処理有料化の状況(直接搬入は除く)(単位:市町村数)

種類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		27 (45.8%)	52 (88.1%)
不燃ごみ		27 (45.8%)	51 (86.4%)
資源ごみ	紙	4 (6.8%)	16 (27.1%)
	金属	14 (23.7%)	21 (35.6%)
	ガラス	14 (23.7%)	22 (37.3%)
	ペットボトル	14 (23.7%)	22 (37.3%)

種 類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
資源ごみ	プラスチック	11 (18.6%)	14 (23.7%)
	布類	0 (0%)	5 (8.5%)
	生ごみ	0 (0%)	1 (1.7%)
	その他	0 (0%)	1 (1.7%)
その他収集ごみ		2 (3.4%)	5 (8.5%)
粗大ごみ		25 (42.4%)	33 (55.9%)

(注1) 割合の分母は平成22年度末現在の市町村数で59です。

(注2) 資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には白色トレイや廃食油などがあります。

(注3) 「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表-5 平成22年度し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有 料		無 料
	従量・回数制	定額制	
し 尿	41 (69.5%)	5 (8.5%)	0
浄化槽汚泥	41 (69.5%)	5 (8.5%)	0

(注) 割合の分母は平成22年度末現在の市町村数で59です。(他13市町村では、非委託許可業者により、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

(2) 福島県廃棄物処理計画

「福島県廃棄物処理計画」については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、平成14年3月に策定し、平成18年3月には、循環型社会づくりに向けた取組みを一層強化するという基本的な考えのもと、この処理計画の見直しを行いました。(以下、見直し後の計画を「旧処理計画」という。)

旧処理計画の計画期間が平成22年度までであることから、地球温暖化対策にも配慮した循環型社会形成の取組みを強化していくという基本的な考えの下に、平成23年度以降の計画として新たな廃棄物処理計画を策定しました。

ア ごみ処理に関する課題

- ①ごみ排出量の減量、再生利用の推進、最終処分量の更なる削減が必要です。
- ②ごみ処理施設について、既存処理施設の更新時期等を考慮し、計画的かつ効率的な施設整備の推進が必要です。

③ごみの不法投棄防止、在宅医療廃棄物や災害廃棄物の適正処理等への対策を進める必要があります。

イ 基本方針

一般廃棄物に関する課題を踏まえ、次の3つの事項を施策の基本方針として取り組んでいくこととします。

- ①ごみの発生抑制、再生利用の推進、最終処分量の削減の推進
- ②ごみ処理施設の効率的な整備及び適切な維持管理の促進
- ③ごみの適正処理の推進

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（平成27年度における目標値）
県民に分かりやすい目標指標として次のように目標値を設定しました。

① 1人1日当たりのごみの排出量	915 g/人・日
② リサイクル率	26%
③ 1日当たりの最終処分量	200 t/日

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

①ごみの発生抑制、再生利用の推進、最終処分量の削減の推進

- 意識啓発の推進
- 日常生活での取組の推進（マイバッグ、生ごみの減量化など）
- 集団回収の促進
- リサイクル製品の使用促進
- ごみ処理有料化の取組促進

②ごみ処理施設の効率的な整備及び適切な維持管理の促進

- 計画的かつ効率的なごみ処理施設整備の促進
- 廃棄物系バイオマス利活用のための施設設置の促進

③ごみの適正処理の推進

- 在宅医療廃棄物処理対策の促進
- 災害廃棄物の適正処理の促進

2 福島県のごみ処理の状況

平成22年度のごみ処理の状況は次のとおりです。

1 ごみの排出量

(1) 排出量

733,364 (t / 年) 【前年度 753,095 t / 年】

前年度と比較すると 19,732 t 減少しています。

(2) 1人1日当たりの排出量 【目標値 915 g / 人・日】

985 (g / 人・日) 【前年度 1,005 g / 人・日】

前年度と比較すると 20 g 減少していますが、目標値と比較すると 70 g オーバーしています。

2 リサイクル率 【目標値 26 %】

14.2 (%) 【前年度 14.9 %】

前年度と比較すると 0.7 ポイント減少しており、目標値との比較では 11.8 ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

91,700 (t / 年) 【前年度 93,069 t / 年】

前年度と比較すると 1,369 t 減少しています。

(2) 1日当たりの埋立量 【目標値 200 t / 日】

251 (t / 日) 【前年度 255 t / 日】

前年度と比較すると 4 t 減少していますが、目標値と比較すると 51 t オーバーしています。

(1) ごみの排出量について

平成22年度におけるごみの総排出量は 733,364 t で、1人1日当たりに換算すると 985 g となります。これを全国平均の 976 g と比較すると 9 g 多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが 535,969 t、事業系ごみが 197,395 t と、前年度と同様、事業系ごみが約 1 / 4 を占めています。

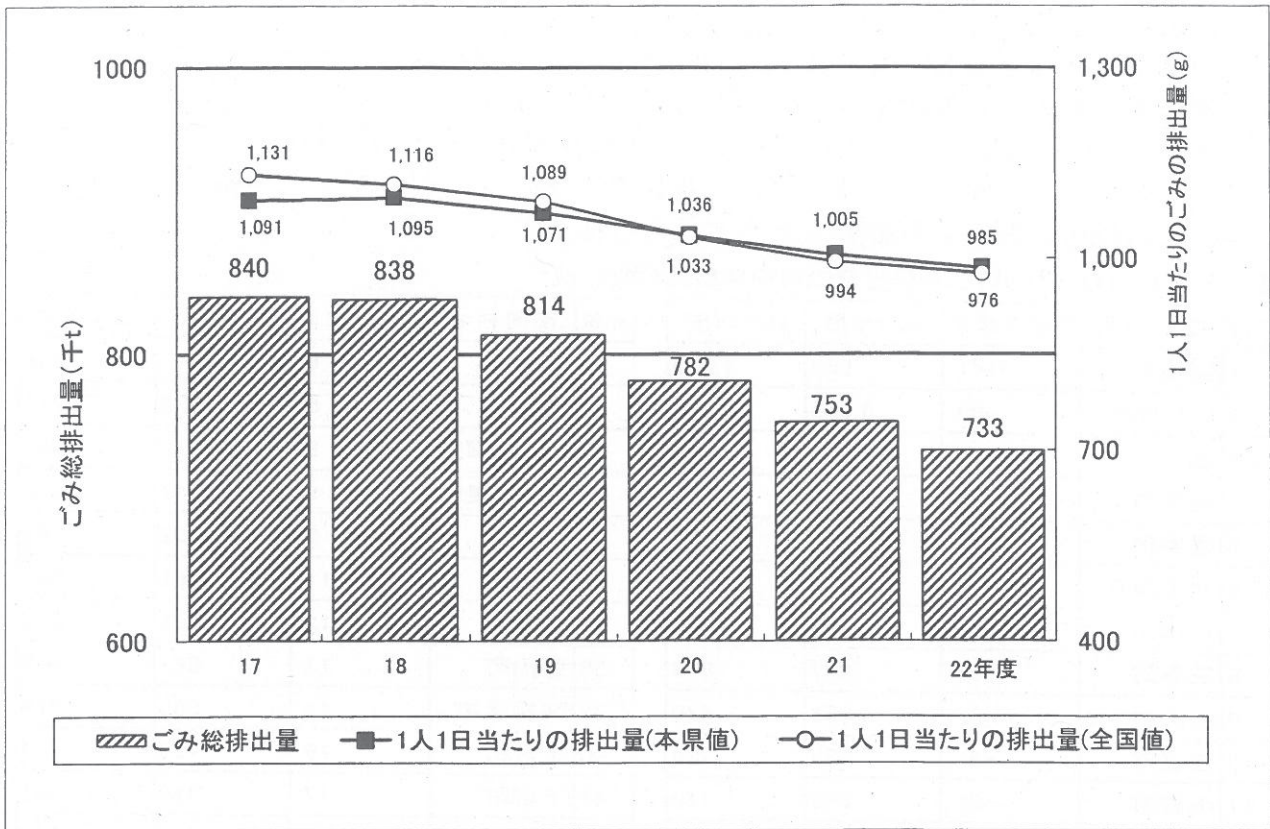


図-1 ごみの排出量の推移

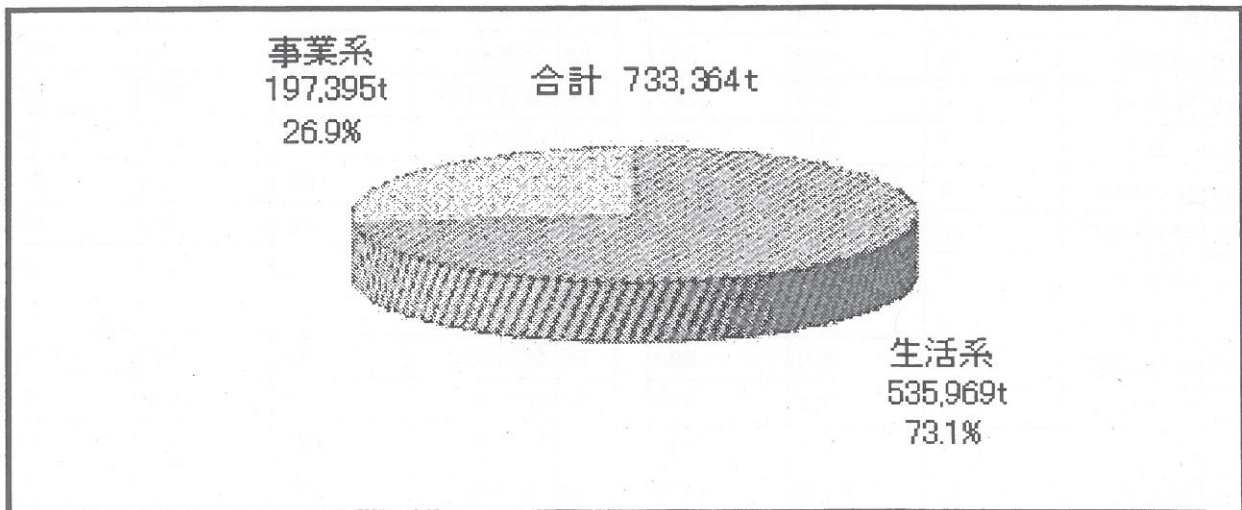


図-2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別 1人1日当たりのごみ排出量の状況

平成21年度と比較して、1人1日当たりのごみ排出量が減少した市町村のランキングは表-6のとおりです。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表-7のとおりで、会津・南会津地域には排出量の多い市町村が見られる傾向にありますが、これは観光客による影響もあると考えられます。

表-6 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	H22年度	H21年度	順位	市町村名	対前年度比	H22年度	H21年度
1	磐梯町	-141	909	1,050	31	田村市	6	641	636
2	いわき市	-89	1,056	1,145	32	矢吹町	6	722	716
3	富岡町	-76	764	841	33	南会津町	8	1,050	1,042
4	相馬市	-71	993	1,064	34	会津美里町	9	847	838
5	福島市	-56	1,061	1,117	35	西郷村	9	802	793
6	北塩原村	-39	1,049	1,088	36	平田村	11	561	550
7	伊達市	-37	978	1,015	37	飯舘村	12	281	270
8	三春町	-36	837	873	38	金山町	13	581	567
9	川内村	-32	388	420	39	南相馬市	14	933	919
10	浪江町	-31	693	724	40	本宮市	15	785	770
11	小野町	-21	689	710	41	下郷町	17	919	902
12	白河市	-20	888	908	42	昭和村	19	698	679
13	双葉町	-19	686	706	43	大玉村	20	636	616
14	石川町	-19	790	808	44	玉川村	22	695	674
15	大熊町	-16	800	816	45	浅川町	25	744	719
16	会津若松市	-15	1,113	1,128	46	天栄村	28	792	764
17	鮫川村	-9	388	397	47	泉崎村	28	571	543
18	柳津町	-9	685	694	48	中島村	30	408	379
19	葛尾村	-8	273	282	49	須賀川市	30	931	901
20	三島町	-7	772	779	50	川俣町	30	922	892
21	檜枝岐村	-6	1,258	1,264	51	塙町	38	884	840
22	猪苗代町	-5	1,085	1,090	52	会津坂下町	46	869	822
23	檜葉町	-5	742	747	53	棚倉町	54	914	860
24	矢祭町	-5	514	519	54	古殿町	57	792	734
25	西会津町	-2	691	693	55	桑折町	63	1,117	1,054
26	二本松市	0	738	738	56	鏡石町	77	940	862
27	新地町	0	542	541	57	只見町	85	1,023	933
28	郡山市	1	1,180	1,179	58	国見町	93	1,072	979
29	広野町	3	778	774	59	喜多方市	96	1,041	944
30	湯川村	5	645	640					

(注1) 対前年度比の数値は各年度の小数点第1位以下も含めたごみ排出量の差のため数値が合わない場合があります。

(注2) 対前年度比の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

表-7 1人1日当たりのごみの排出量 (単位: g)

(1) 人口5万人以上
(10市)

順位	市町村名	排出量
1	二本松市	738
2	白河市	888
3	須賀川市	931
4	南相馬市	933
5	伊達市	978
6	喜多方市	1,041
7	いわき市	1,056
8	福島市	1,061
9	会津若松市	1,113
10	郡山市	1,180
	平均	1,053

(3) 人口5千人~1万人未満
(16町村)

順位	市町村名	排出量
1	飯館村	281
2	中島村	408
3	矢祭町	514
4	新地町	542
5	平田村	561
6	泉崎村	571
7	大玉村	636
8	双葉町	686
9	西会津町	691
10	玉川村	695
11	楢葉町	742
12	浅川町	744
13	広野町	778
14	天栄村	792
15	古殿町	792
16	下郷町	919
	平均	648

(5) 全市町村
(59市町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	273
2	飯館村	281
3	川内村	388
4	鮫川村	388
5	中島村	408
6	矢祭町	514
7	新地町	542
8	平田村	561
9	泉崎村	571
10	金山町	581
11	大玉村	636
12	田村市	641
13	湯川村	645
14	柳津町	685
15	双葉町	686
16	小野町	689
17	西会津町	691
18	浪江町	693
19	玉川村	695
20	昭和村	698
21	矢吹町	722
22	二本松市	738
23	楢葉町	742
24	浅川町	744
25	富岡町	764
26	三島町	772
27	広野町	778
28	本宮市	785
29	石川町	790
30	天栄村	792
31	古殿町	792
32	大熊町	800
33	西郷村	802
34	三春町	837
35	会津美里町	847
36	会津坂下町	869
37	埴町	884
38	白河市	888
39	磐梯町	909
40	棚倉町	914
41	下郷町	919
42	川俣町	922
43	須賀川市	931
44	南相馬市	933
45	鏡石町	940
46	伊達市	978
47	相馬市	993
48	只見町	1,023
49	喜多方市	1,041
50	北塩原村	1,049
51	南会津町	1,050
52	いわき市	1,056
53	福島市	1,061
54	国見町	1,072
55	猪苗代町	1,085
56	会津若松市	1,113
57	桑折町	1,117
58	郡山市	1,180
59	檜枝岐村	1,258
	平均	985

(2) 人口1万人~5万人未満
(21市町村)

順位	市町村名	排出量
1	田村市	641
2	小野町	689
3	浪江町	693
4	矢吹町	722
5	富岡町	764
6	本宮市	785
7	石川町	790
8	大熊町	800
9	西郷村	802
10	三春町	837
11	会津美里町	847
12	会津坂下町	869
13	埴町	884
14	棚倉町	914
15	川俣町	922
16	鏡石町	940
17	相馬市	993
18	南会津町	1,050
19	国見町	1,072
20	猪苗代町	1,085
21	桑折町	1,117
	平均	850

(4) 人口5千人未満
(12町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	273
2	川内村	388
3	鮫川村	388
4	金山町	581
5	湯川村	645
6	柳津町	685
7	昭和村	698
8	三島町	772
9	磐梯町	909
10	只見町	1,023
11	北塩原村	1,049
12	檜枝岐村	1,258
	平均	716

【参考】

全国ベスト3

- 1位 奈良県野迫川村 241.5g/人・日
- 2位 徳島県神山町 249.8g/人・日
- 3位 福島県葛尾村 273.5g/人・日

(注) 太字は、生活系可燃ごみの有料化を実施している
27市町村

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は27市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表-8のとおり、生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1人1日当たりのごみ排出量(平均)が289g(28%)少なくなっています。

また、人口区分ごとにみても、同様の傾向となっています。(有料化実施市町村は、表7の太字部分及び第2編統計データ編「8 平成22年度ごみ処理手数料の状況(生活系)」を参照。)

表-8 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量

(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差
排出量	748 (27)	1,037 (32)	-289
人口50,000人以上の市町村の排出量	888 (1)	1,060 (9)	-172
人口10,000~50,000人の市町村の排出量	764 (12)	955 (9)	-191
人口5,000~10,000人の市町村の排出量	620 (11)	704 (5)	-84
人口5,000人未満の市町村の排出量	367 (3)	831 (9)	-464

※()内は市町村数

(2) ごみの分別収集状況について

各市町村においては、容器包装リサイクル法が平成9年度から本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

平成22年度の状況は表-9のとおりであり、23区分から8区分まで分別収集が行われています。

表-9 分別収集の状況

分別数	市町村名	市町村数
23	三春町	1
21	双葉町	1
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、檜枝岐村、会津坂下町	7
16	鏡石町、猪苗代町、会津美里町、南相馬市、飯舘村	5
15	国見町、田村市、小野町、天栄村、喜多方市、西会津町、磐梯町、湯川村、楡葉町、新地町	10
14	伊達市、須賀川市、棚倉町、矢祭町、埴町、鮫川村、会津若松市、下郷町、南会津町、柳津町、三島町、広野町、富岡町、川内村、いわき市	15
13	郡山市、北塩原村、只見町、浪江町	4
12	福島市、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町	6
11	桑折町、川俣町、金山町、昭和村、相馬市	5
9	大熊町	1
8	葛尾村	1

(注1)分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。よって、例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出させている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。

(注2)合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。

(3) ごみの処理状況について

平成22年度のごみ処理フローは図-3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は716,037 tで、このうち、直接焼却処理された量は609,443 t (85.1%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は69,626 t (9.7%)となっています。

最終処分された量は91,700 tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が85,022 t (92.7%)、直接最終処分された量が6,678 t (7.3%)となっています。

総資源化量は105,503 tで、このうち、収集後に直接資源化された量が30,290 t (28.7%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が46,577 t (44.2%)、集団回収量が28,636 t (27.1%)となっています。

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：t/年)

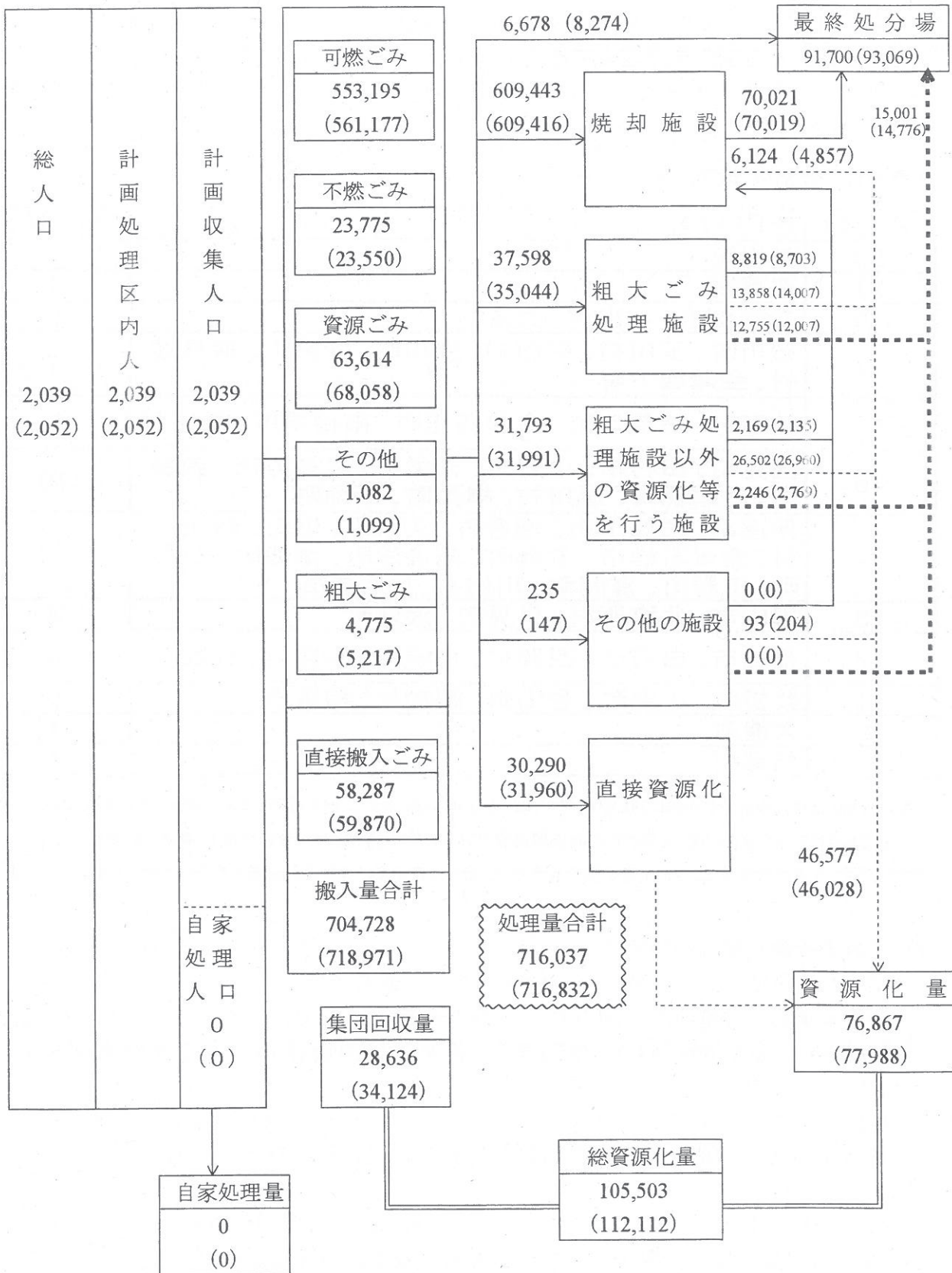


図-3 ごみ処理のフロー図

(注) () 内は平成21年度の実績

前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

(4) リサイクル率について

リサイクル率は平成19年度をピークに下降傾向であり、前年度と比較すると、0.7ポイント低下しています。また、資源化率は近年は横ばい傾向となっています。

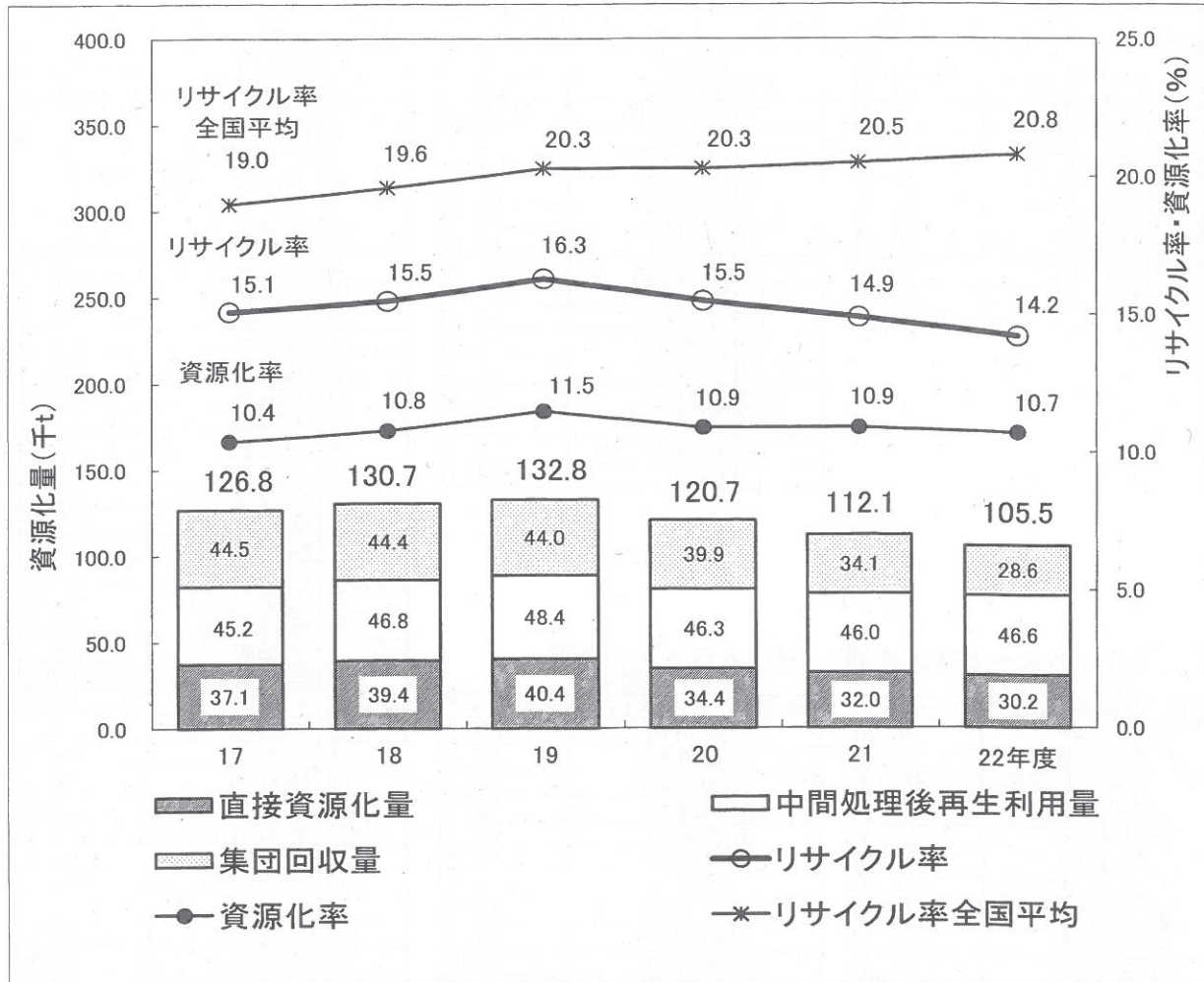


図-4 総資源化量とリサイクル率の推移

$$\text{資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量})$$

$$\text{総資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量}) + (\text{集団回収量})$$

$$\text{リサイクル率} = \frac{(\text{総資源化量})}{(\text{ごみ処理量}) + (\text{集団回収量})} \times 100$$

$$\text{資源化率} = \frac{(\text{資源化量})}{(\text{ごみ処理量})} \times 100$$

○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-10のとおりです。

表-10 リサイクル率 (単位: %)

(1) 人口5万人以上 (10市)			(3) 人口5千人~1万人未満 (16町村)			(5) 全市町村 (59市町村)		
順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率
1	二本松市	25.9	1	飯館村	38.6	1	飯館村	38.6
2	いわき市	19.0	2	大玉村	20.2	2	二本松市	25.9
3	会津若松市	16.4	3	西会津町	19.1	3	三春町	25.8
4	南相馬市	15.6	4	新地町	17.4	4	田村市	22.3
5	喜多方市	15.3	5	下郷町	15.1	5	会津坂下町	20.8
6	須賀川市	13.2	6	中島村	14.5	6	湯川村	20.3
7	伊達市	13.1	7	天栄村	13.9	7	大玉村	20.2
8	郡山市	12.0	8	矢祭町	13.6	8	柳津町	19.3
9	白河市	10.5	9	平田村	12.5	9	檜枝岐村	19.1
10	福島市	10.3	10	泉崎村	12.5	10	西会津町	19.1
	平均	14.3	11	浅川町	12.5	11	いわき市	19.0
			12	檜葉町	11.9	12	昭和村	18.2
			13	玉川村	11.4	13	猪苗代町	18.2
			14	広野町	11.0	14	本宮市	17.8
			15	古殿町	9.1	15	新地町	17.4
			16	双葉町	7.8	16	葛尾村	17.2
				平均	14.3	17	只見町	16.8
						18	会津若松市	16.4
						19	桑折町	15.8
						20	南相馬市	15.6
						21	三島町	15.6
						22	会津美里町	15.4
						23	喜多方市	15.3
						24	下郷町	15.1
						25	国見町	15.0
						26	小野町	14.6
						27	中島村	14.5
						28	川内村	14.4
						29	鏡石町	14.3
						30	鮫川村	14.3
						31	天栄村	13.9
						32	矢祭町	13.6
						33	須賀川市	13.2
						34	相馬市	13.2
						35	伊達市	13.1
						36	平田村	12.5
						37	泉崎村	12.5
						38	浅川町	12.5
						39	郡山市	12.0
						40	檜葉町	11.9
						41	大熊町	11.5
						42	玉川村	11.4
						43	南会津町	11.3
						44	石川町	11.1
						45	広野町	11.0
						46	塙町	10.8
						47	矢吹町	10.6
						48	白河市	10.5
						49	福島市	10.3
						50	棚倉町	10.0
						51	富岡町	10.0
						52	浪江町	9.5
						53	川俣町	9.3
						54	古殿町	9.1
						55	双葉町	7.8
						56	金山町	6.6
						57	磐梯町	5.6
						58	西郷村	4.7
						59	北塩原村	2.9
							平均	14.2

(2) 人口1万人~5万人未満 (21市町村)			(4) 人口5千人未満 (12町村)		
順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	25.8	1	湯川村	20.3
2	田村市	22.3	2	柳津町	19.3
3	会津坂下町	20.8	3	檜枝岐村	19.1
4	猪苗代町	18.2	4	昭和村	18.2
5	本宮市	17.8	5	葛尾村	17.2
6	桑折町	15.8	6	只見町	16.8
7	会津美里町	15.4	7	三島町	15.6
8	国見町	15.0	8	川内村	14.4
9	小野町	14.6	9	鮫川村	14.3
10	鏡石町	14.3	10	金山町	6.6
11	相馬市	13.2	11	磐梯町	5.6
12	大熊町	11.5	12	北塩原村	2.9
13	南会津町	11.3		平均	13.2
14	石川町	11.1			
15	塙町	10.8			
16	矢吹町	10.6			
17	棚倉町	10.0			
18	富岡町	10.0			
19	浪江町	9.5			
20	川俣町	9.3			
21	西郷村	4.7			
	平均	13.5			

【参考】

全国ベスト3

1位	鹿児島県大崎町	80.7%
2位	鹿児島県志布志市	75.3%
3位	長野県筑北村	66.8%

(5) 最終処分場埋立量について

平成22年度の最終処分量は91.7千tと年々減少しており、前年度の93.1千tと比較すると1.4千t減少しています。(1日当たりでは3.8tの減少)

また、直接最終処分量も6.7千tと着実に減少しており、前年度の8.3千tと比較すると1.6千t減少しています。

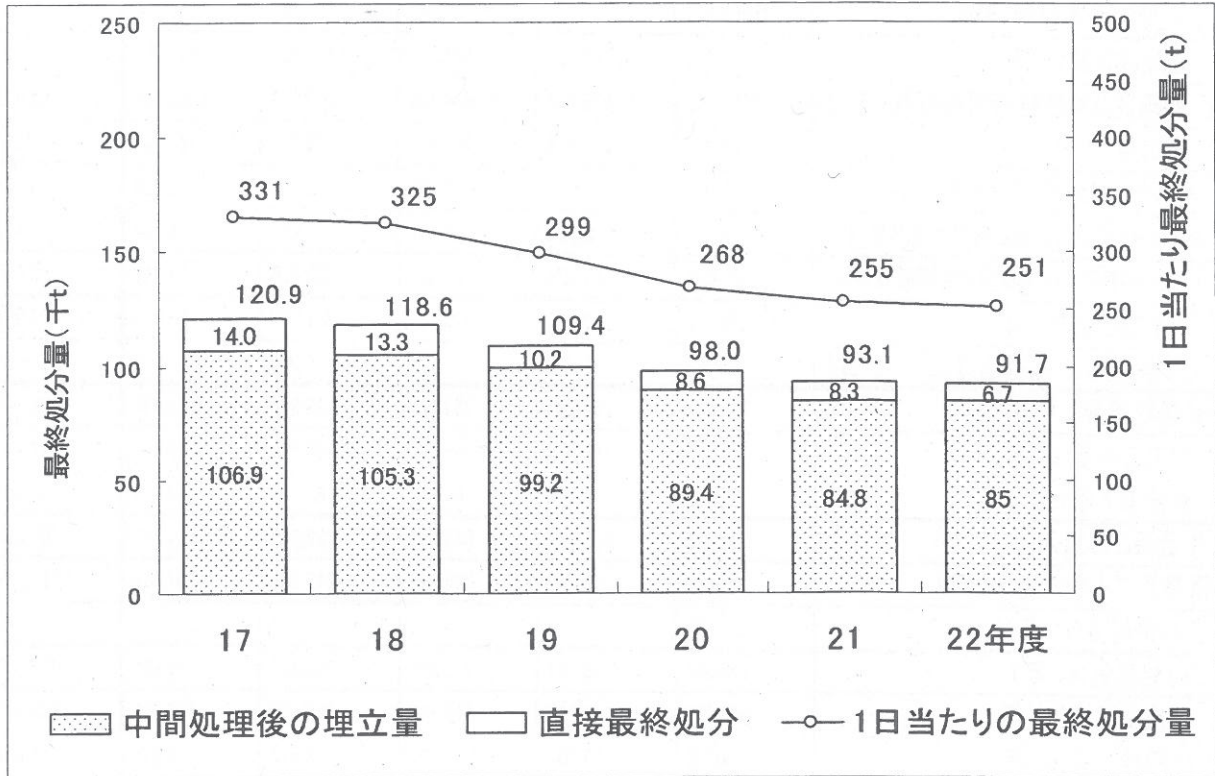


図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-11 ごみ処理の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
a 総人口(人)	2,109,814	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	
b 計画処理区域内人口(人)	2,109,814	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	
c 計画収集人口(人)	2,109,339	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	
d 自家処理人口(人)	475	0	0	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	20,206,987	21,270,693	25,189,553	20,257,782	19,143,535	18,581,156	
f 建設改良費(千円)	2,452,415	3,266,266	6,806,779	2,170,532	577,081	997,256	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	17,185,241	17,333,513	17,634,789	17,390,521	17,861,949	17,154,952	
h その他(千円)	569,331	670,914	747,985	696,729	704,505	428,948	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	9,578	10,147	12,130	9,804	9,328	9,111	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	8,145	8,269	8,492	8,417	8,704	8,412	
k 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	21,607	21,773	22,837	23,486	24,918	23,958	
l ごみ総排出量(t/年)	840,012	837,965	813,723	781,583	753,095	733,364	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,091	1,095	1,071	1,036	1,005	985	
n 計画収集量(t/年)	795,529	793,520	769,716	741,643	718,971	704,728	
o 収集ごみ量(t/年)	728,987	719,578	705,338	680,404	659,101	646,441	
p 直接搬入量(t/年)	66,542	73,942	64,378	61,239	59,870	58,287	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	538,923	542,071	535,651	522,288	511,511	507,333	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	256,606	251,449	234,065	219,355	207,460	197,395	
s 自家処理量(t/年)	187	0	0	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	795,362	796,105	772,209	740,461	716,832	716,037	
u 直接焼却量(t/年)	665,601	663,827	645,545	625,953	609,416	609,443	
v 直接埋立量(t/年)	14,030	13,302	10,185	8,572	8,274	6,678	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	78,565	79,576	76,079	71,489	67,182	69,626	
x 直接資源化量(t/年)	37,166	39,400	40,400	34,447	31,960	30,290	
y 資源化量(t/年)	82,328	86,240	88,817	80,712	77,988	76,867	
z 集団回収量(t/年)	44,483	44,445	44,007	39,940	34,124	28,636	
aa 資源化率(%)	10.4	10.8	11.5	10.9	10.9	10.7	
ab リサイクル率(%)	15.1	15.5	16.3	15.5	14.9	14.2	
ac 1日当たりの最終処分量(t/日)	331	325	299	268	255	251	
全 国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,131	1,116	1,089	1,033	994	976
	資源化率(%)	14.1	14.6	15.2	15.2	15.4	15.7
	リサイクル率(%)	19.0	19.6	20.3	20.3	20.5	20.8

(注) $i = (e/b) \times 1,000$

$j = (g/b) \times 1,000$

$k = (g/t) \times 1,000$

$l = n + z$

$m = (l/b/365) \times 1,000,000$ ※平成19年度は「365」を「366」として計算した。

$n = q + r$

$aa = (y/t) \times 100$

$ab = (y+z)/(t+z) \times 100$

3 福島県のし尿処理の状況

(1) 水洗化の状況について

平成22年度の水洗化率は87.5%と年々増加しており、下水道による水洗化率は42.7%、浄化槽及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は44.7%（うち合併処理浄化槽による水洗化率は23.9%）となっています。（P19 参照）

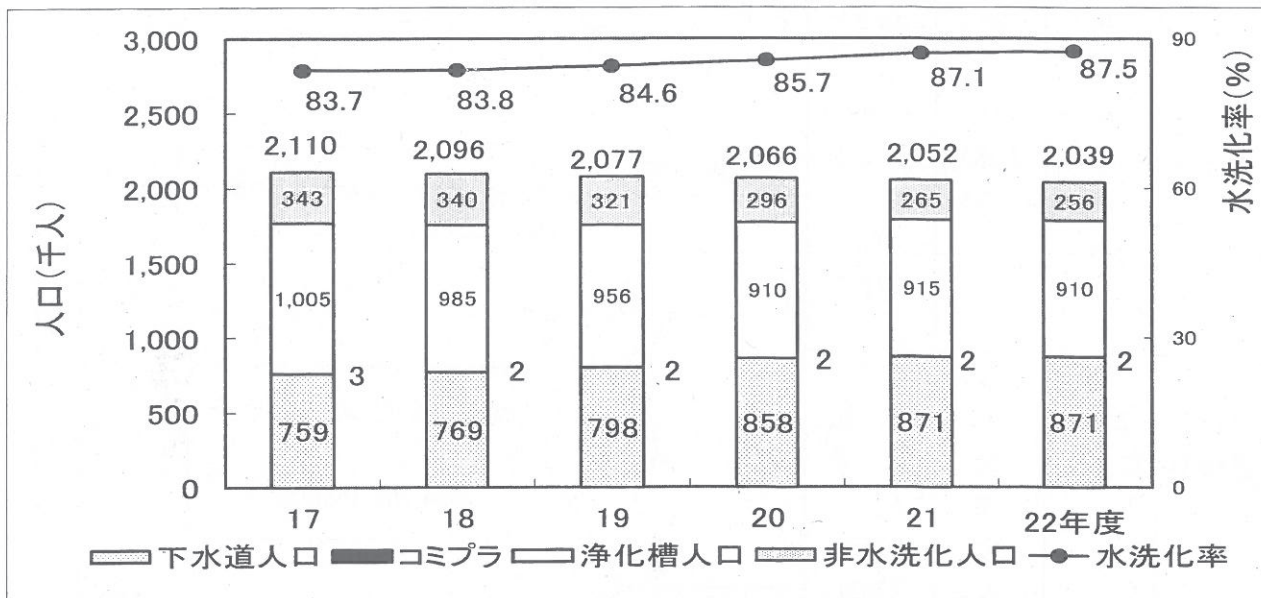


図-6 水洗化人口等の推移

(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

平成22年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は603,235 kℓで、前年度の677,407 kℓと比較すると74,172 kℓ減少しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は564,705 kℓ（93.6%）、下水道投入等が38,012 kℓ（6.3%）、自家処理量が518 kℓ（0.1%）となっています。

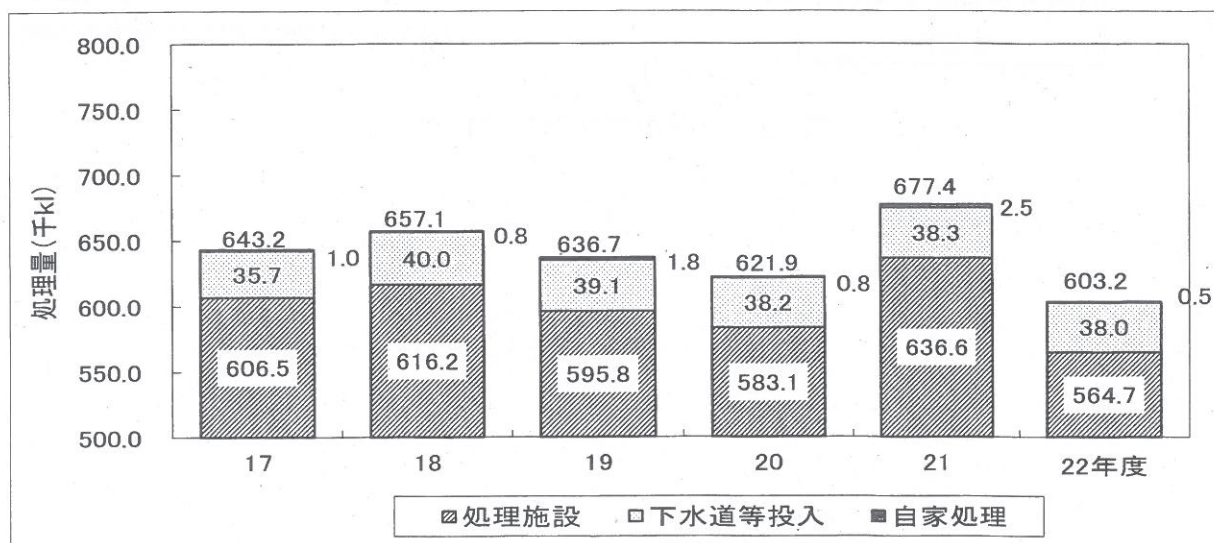
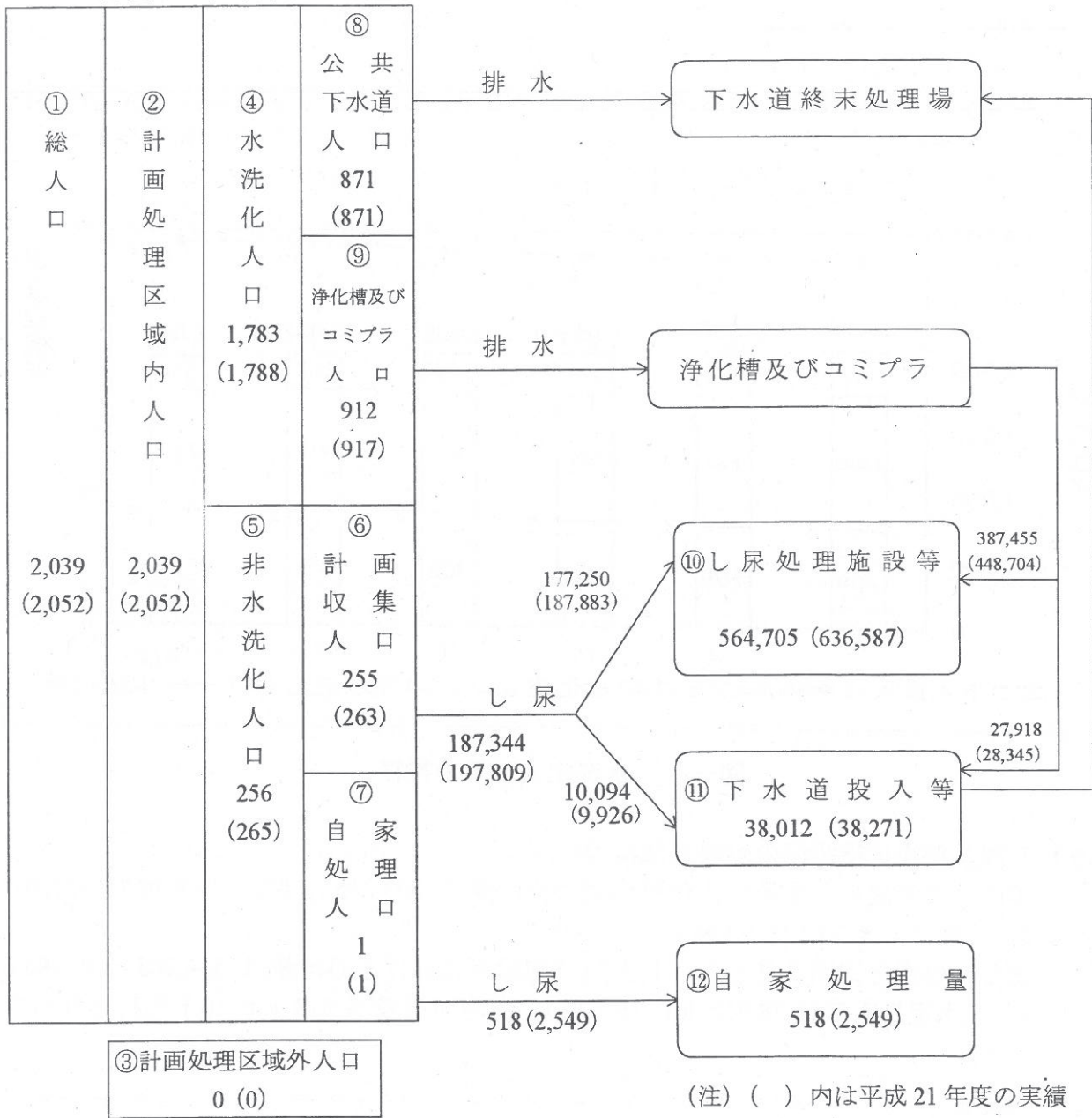


図-7 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：k l /年)



図一 8 し尿処理のフロー図

表-12 し尿処理の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
a 総人口(人)①	2,109,814	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345
b 計画処理区域内人口(人)②	2,109,814	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345
c 水洗化率(%)	83.7	83.8	84.6	85.7	87.1	87.5
d 水洗化人口(人)④	1,766,762	1,756,592	1,755,857	1,770,060	1,787,668	1,783,469
e 公共下水道人口(人)⑧	758,954	768,879	797,919	857,566	870,655	871,038
f コミュニティプラント人口(人)⑨	2,920	2,543	2,420	2,426	2,609	2,627
g 浄化槽人口(人)⑩	1,004,888	985,170	955,518	910,068	914,404	909,804
h 合併処理浄化槽人口(人)	439,276	443,236	479,941	471,222	490,624	488,291
i 非水洗化率(%)	16.3	16.2	15.4	14.3	12.9	12.5
j 非水洗化人口(人)⑤	343,052	339,703	320,766	296,162	264,514	255,876
k 計画収集人口(人)⑥	340,695	337,953	319,162	294,666	263,256	254,654
l 自家処理人口(人)⑦	2,357	1,750	1,604	1,496	1,258	1,222
m 計画処理区域内のし尿排出量(kl/年)	643,205	657,052	636,738	621,974	677,407	603,235
n し尿処理量(kl/年)	643,205	657,052	636,738	621,974	677,407	603,235
o 計画処理量(t/年)	642,223	656,263	634,963	621,304	674,858	602,717
p し尿処理施設(kl/年)	606,523	616,236	594,275	583,090	636,587	564,705
q ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	0	1,562	0	0	0
r 下水道投入等(kl/年)	35,700	40,027	39,126	38,214	38,271	38,012
s 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	0
t その他(kl/年)	0	0	0	0	0	0
u 自家処理量(kl/年)	982	789	1,775	670	2,549	518

(注) $c = (d/b) \times 100$

$i = (j/b) \times 100$

(対総人口ベース)

計画区域率 ②/①=100.0%(100.0%)

水洗化率 ④/①=87.5%(87.1%)

非水洗化率 ⑤/①=12.5%(12.9%)

計画収集率 ⑥/①=12.5%(12.8%)

自家処理率 ⑦/①=0.1%(0.1%)

公共下水道水洗化率 ⑧/①=42.7%(42.4%)

浄化槽及びびオミプラ水洗化率 ⑨/①=44.7%(44.7%)

(対非水洗化人口)

計画収集率 ⑥/⑤=99.5%(99.5%)

自家処理率 ⑦/⑤=0.5%(0.5%)

(3) 浄化槽の設置状況について

平成22年度の新設浄化槽基数は 3,645 基（対前年度比 93.6%）と、表-13のとおり年々減少しています。

また、平成22年度末における浄化槽設置基数は 268,986 基で、図-9のとおり平成14年度をピークに年々減少しており、そのうち単独処理浄化槽が 176,165 基と 65%を占めています。

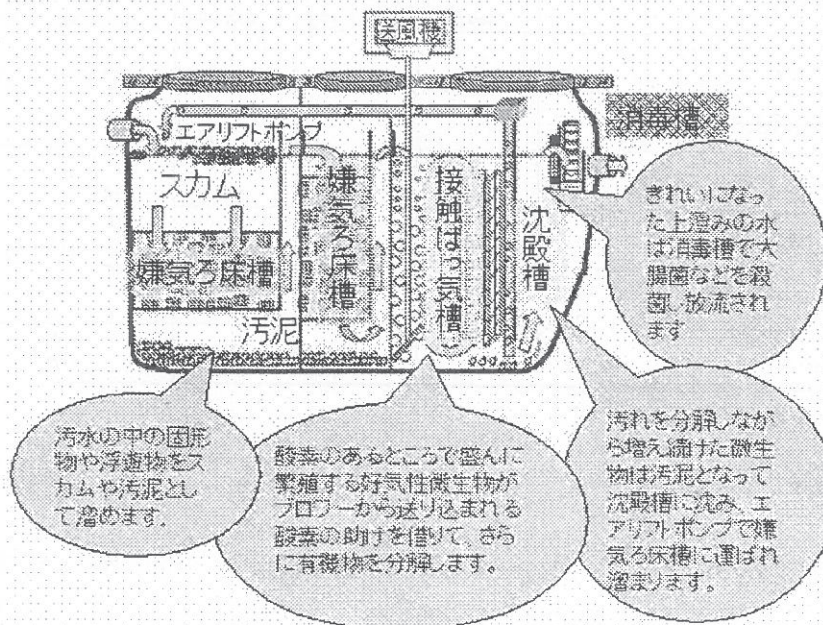
表-13 年度別新規設置基数

年度	17	18	19	20	21	22
基数	5,951	5,574	4,761	4,221	3,894	3,645

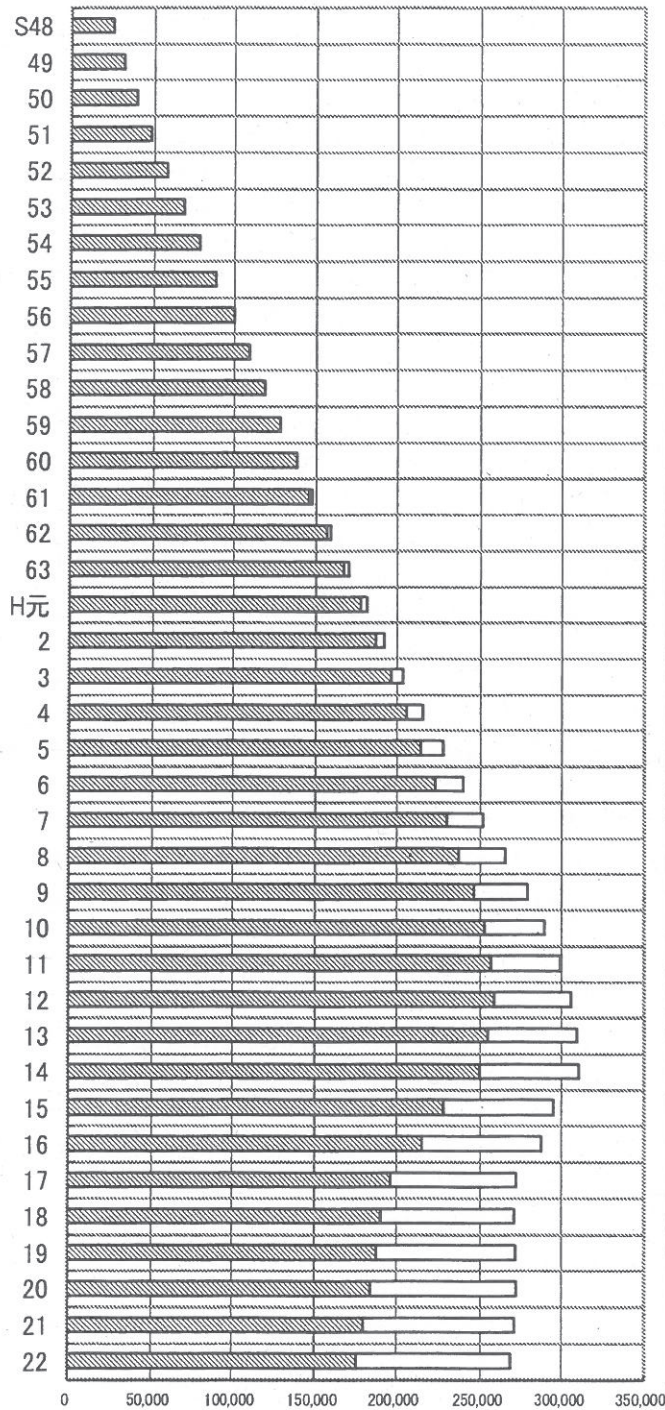
表-14 平成22年度末人槽別設置基数

人槽規模	5～20	21～100	101～200	201～500	501～	合計
基数	248,203	17,751	1,545	1,064	423	268,986

〈参考〉浄化槽のしくみ（嫌気ろ床接触ばっ気方式の例）



(年度)



年度	单独处理净化槽	合併处理净化槽	合計
昭和48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
平成元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259
21	180,519	90,508	271,027
22	176,165	92,821	268,986

(基数)

■ 单独处理净化槽
□ 合併处理净化槽

図-9 浄化槽設置基数の推移

